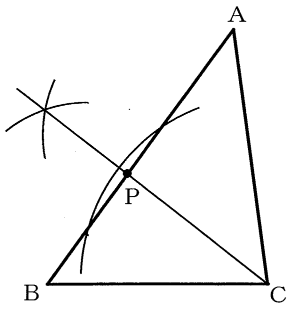
数学　採点のポイント

【2　分割後期・二次】

問題番号 配点	正　答　例	採点のポイント
$\boxed{1}$ 〔問９〕 配点 ６点	 	○頂点Ｃから辺ＡＢへの垂線を引き，辺ＡＢ上にあり，頂点Ｃとの距離が最も短くなる点Ｐが正確に示されている。
$\boxed{2}$ 〔問２〕 配点 ７点	円すいの側面積は，$\pi a^2 \times \dfrac{2\pi r}{2\pi a} = \pi a r$ 円すいの底面積は，πr^2 となる。 したがって，円すいの表面積Ｑは， $Q = \pi a r + \pi r^2$ $= \pi r(a+r)$ ………………… (1) $\ell = 2\pi r$ だから， $\pi r = \dfrac{1}{2}\ell$ ………………… (2) (1)，(2) より， $Q = \dfrac{1}{2}\ell(a+r)$	○（円すいの表面積）＝（側面積）＋（底面積）の考え方によって，円すいの表面積が文字を用いた式で適切に表されている。 ○$\ell = 2\pi r$ を用いた式の変形ができ，適切に処理されている。 ○円すいの表面積について， $Q = \dfrac{1}{2}\ell(a+r)$　が成り立つことが的確に示されている。
$\boxed{4}$ 〔問２〕 ① 配点 ７点	△ＡＰＣ と △ＱＡＣにおいて， 共通な角だから， ∠ＡＣＰ＝∠ＱＣＡ　………(1) 仮定から， $\overset{\frown}{AC} = \overset{\frown}{BC}$ 等しい弧に対する円周角は等しいから， ∠ＡＰＣ＝∠ＱＡＣ　………(2) (1)，(2) より，２ 組の角がそれぞれ等しいから， △ＡＰＣ ∽ △ＱＡＣ	○正しいと認められる事柄について，根拠を明確にして記述し，仮定から結論を導く推論の過程が的確に示されている。

各学校において，採点のポイントを踏まえて『部分点の基準』を作成し，『部分点の基準ごとの点数』を定めること。

なお，受検者の実態等に応じて，次の例のように詳細な基準を定めることができる。

- 「○○について××が書かれている。」のように，具体的な内容を加えること。
- 「○○と△△が書かれている。（３点）」「○○が書かれている。（２点）」「△△が書かれている。（１点）」のように，段階を設け，段階ごとの点数を設定すること。
- 「誤字が一つ以上ある。（１点減点）」のように，部分点の基準を加えること。